

保土ヶ谷薬業会だより 令和5年6月号

=== 会長報告 ===

平素より本会の運営にご理解ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類になって、感染症法上の5類感染症に位置づけることとなり、発生状況等の把握については、定点医療機関（全国約5,000か所のインフルエンザ/COVID-19 定点）からの報告に基づくものとなりました。直近の報告（令和5年5月15日～令和5年5月21日）では、神奈川県では1,189人（定点当たり3.30）、全国では17,489人（定点当たり3.56）となっており、最近の報告数推移を比べると患者数が増加傾向になっております。年代別で見ると偏りはなく、どの世代でも感染者が増えている状況です。引き続き感染対策は怠らないようお願い致します。

規制改革推進会議に於いて対物業務の効率化の観点から調剤業務の外部委託が大きな話題となっており、提案者の医師でもあり薬局経営をしている狭間氏が大阪府の国家戦略特区を活用し、「薬局DX推進コンソーシアム」を立ち上げました。厚生労働省のワーキンググループでも検討を重ねていますが、責任の所在など業務が効率化する半面で様々な問題が起こる可能性があります。今後ワーキンググループでガイドラインを作成していくとのことですが、こういった業務の効率化が中小薬局にメリットが出る方向に進めばと思います。

現在子ども・子育て政策の財源について議論されていますが、財源確保に社会保障費を使うことが取り沙汰されています。少子化対策は重要政策ですが物価や人件費の高騰で厳しい状況にある中で社会保障費を削減することは医療・介護・福祉の崩壊を招く可能性があり、収入源が公定価格である医療・介護分野では大変厳しい状況になることが簡単に想定できることであり、医師会・歯科医師会・薬剤師会などの関係団体からは反対の声が出ています。2024年度の診療報酬・介護報酬のダブル改定が物価高騰を踏まえた改定になるように望みたいと思います。

今後もメーリングリストを中心に皆様には有益な情報を発信して参りますので、メーリングリストやLINEに登録ご希望の方は下記内容をご確認下さい。皆様や家族、スタッフの体調にご留意頂き、お体ご自愛頂ければと思います。今後とも本会の運営にご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

石井 泰彦



メーリングリスト登録希望連絡先

yasuhiko@ishii-kusuri.com

【保土ヶ谷薬業会 LINE オープンチャット QR コード】

※端末のカメラ又はLINEの友だち追加からQRコードを読み取り、登録をお願い致します。

□□□勉強会のお知らせ□□□

2023年6月9日（金）20:00～21:30

オンライン(zoom)、保土ヶ谷医療センター2F 保土ヶ谷区医師会会議室(保土ヶ谷区天王町1-21)同時開催
研修センターの新システムに伴い現地参加の方は個人のQRコードを紙に印刷して持参してください。

※オンライン、現地にかかわらず研修会に参加するには事前参加登録が必要です。今回の登録は終了しています。

『血液疾患について』

横浜市立市民病院 血液内科 科長 仲里 朝周先生